

	評価項目	評価の観点
1	業務の目的・考え方	本業務委託の背景、意義及び目的を十分に理解し、それに沿った提案となっているか。
2	導入実績	過去10年の間に公立の教育・保育施設（幼稚園や保育所、認定こども園等）における導入実績を有しているか。
3	稼働実績	<ul style="list-style-type: none"> ・導入済みの教育・保育施設において、安定的な利用継続率を有しているか ・導入先の現場（職員・保護者）で日常的に使われ、運用が根付いているか（複数の機能について一定の定着率を有しているか）。
4	業務実施体制	本業務を遂行するために必要な実施体制、人員配置及び責任体制が明示され、確保されているか。
5	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担及び作業内容が明確であり、実現可能かつ適切なスケジュールとなっているか。 ・導入を進めていくうえで、進行管理の方法が整備されているか。
6	運用支援	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の業務実態を踏まえ、稼働後の継続利用及び定着を支援する体制が整備された提案となっているか。 ・問い合わせ対応、障害対応、保守対応等について、保護者及び職員が利用しやすい支援体制となっているか。
7	操作研修	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の運用場面を想定した、具体的かつ実効性のある研修内容となっているか。 ・職員向け及び保護者向けの操作マニュアル、手順書等が適切に整備されているか。 ・ICTに関する知識が十分でない者にも理解しやすい記載内容となっているか。
8	拡張性	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性及び操作性の向上に資する継続的な機能改善が実施されているか。 ・将来的な制度改正、国の方針変更等に対し、バージョンアップ又は機能追加により柔軟に対応できるか。
9	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・障害、情報漏えいその他の事故を未然に防止するための技術的及び運用上の対策が具体的に示されているか。 ・不正アクセス対策、アクセス権限管理、定期的なバックアップ、各種ログ管理等の情報セキュリティ対策が適切に示されているか。 ・システム障害又は端末トラブル発生時における連絡体制、復旧対応及び支援内容が明確に示されているか。
10	環境・機器	<ul style="list-style-type: none"> ・システム利用に必要な端末、周辺機器、ネットワーク環境、推奨動作条件、通信要件等が具体的かつ明確に示されているか。 ・現行の幼稚園における通信環境及び運用実態を踏まえ、本システム並びに別途調達するタブレット端末（MDM管理・Cellularモデル）を組み合わせ、安定的かつ継続的な運用が可能な提案となっているか。 ・システム利用に必要な専用又は固有の付帯機器がある場合、その費用を提案価格に含めた提案となっているか。
11	機能要件	<ul style="list-style-type: none"> ・必須機能について、標準機能により対応可能な提案となっているか。 ・機能要件一覧に対する適合状況が高いか。 ・提案された機能又は代替案は、実際の運用や業務の流れに照らして適切かつ実効性のある内容となっているか。 ・追加費用を要しない機能追加が行われる場合、特別な手続を要することなく円滑に利用できるか。
12	独自提案	本仕様書に定める要件のほか、本市にとって、保護者をはじめとした市民サービスの向上、業務効率化、教育・保育の質の向上、又は将来的な発展性に資する独自提案がなされているか。
13	提案金額 (当該年度)	初年度に要するシステム導入費、初期設定費、当該年度利用料等の合計額について評価する。
14	提案金額 (次年度以降)	導入年度の次年度以降に要するシステム利用料、保守管理費その他継続的に要する経費について、予定契約期間における総額を評価する。なお、初年度と次年度及び次年度以降間の年度間の増額については、その理由および根拠も含めて評価する。